

TRIP Summer Event 2025 感想文3

この度は、TRIP Summer Event 2025 に参加させていただき、誠にありがとうございました。私は大学の案内で本イベントを知りました。イベント参加前は理化学研究所（以下、理研）がどのような場所かあまり分かっていませんでしたが、理研の技術者の働き方や最先端の分析装置について学びたいという思いから、参加を志望いたしました。

前泊での参加は初めてで少し緊張しておりましたが、事前に送付いただいた資料や会場までの詳細な案内のおかげで、安心して向かうことができました。また、到着後すぐに大きな荷物を預かっていただけたことにも、心から感謝しております。

午前中の講演では、理研の歴史や、研究活動における技術者の役割について深く学ぶことができました。特に、研究者のアイデアと技術者の高いテクニックが融合することで、研究が飛躍的に進展するというお話に感銘を受けました。また、技術者の方々の経験談は、日々の仕事の面白さややりがい伝わってくる貴重なお話ばかりでした。どこの大学機関でもできなかった化合物の分析や、レーザー光線での組織切断、顕微授精技術のお話は、これこそが技術者の力だと強く感じました。最先端の研究では極微量のサンプルのみで分析を行うため、責任感と高い技術力が求められることを知り、技術者という職業の奥深さを知る良い機会となりました。

午後からは、私が希望した和光 E コース「NMR と MS による有機化合物の構造解析」に参加しました。そこでは、大学では触れることのない様々な分析装置を目の当たりにし、驚きました。特に、固体サンプルを測定する NMR 装置は初めて見るもので、xyz において 54.7 度の軸で高速回転させて測定する仕組みに感動しました。また、Imaging MS 装置の測定結果がリアルタイムで画面に表示される様子は、とても興味深く、分析技術の面白さを再認識しました。

コーヒースタンドやグループディスカッションでは、他の参加者の方々と技術者の皆様と交流する貴重な機会をいただきました。理研で働くことになった経緯や論文の探し方、大学院進学の悩みなど、具体的なお話は、今後の私のキャリアを考える上で大きなヒントとなりました。まだ経験の浅い学部生で不安を抱えていましたが、技術者になりたいという思いを強く後押ししてくださったことが、とても嬉しかったです。

今回のイベントで、NMR や MS といった分析技術のことはもちろん、理研の技術者の方々の日常や、研究に対する熱意など、ここでしか聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。今回得た学びや人との出会いを大切に、これからの学習や将来の進路選択に活かしていきたいと思います。素晴らしい機会をいただき、重ねて感謝申し上げます。